

平成 27 年度 第 1 回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 平成 27 年 6 月 26 日 (金) 13 時 58 分～15 時 30 分

2. 開催場所 東金市役所 3 階 第 1 委員会室

3. 出席者

【委員】 齊藤委員、川嶋委員、坂本委員、中村委員、三須委員、岡崎委員 (代理 辻内氏)、
田中委員、笹尾委員、仲田委員、吉井委員、林委員、座古委員、小泉委員、
岡本委員、越川委員、千葉委員 (代理 平野氏)、椎名委員 (代理 今村氏)、
大木委員 (代理 中野氏)、関口委員、本吉委員 (代理 相川氏)、
佐藤委員、今関委員、錦見委員

(欠席) 田邊委員、矢野委員、尾崎委員、川口委員

【事務局】 山本企画政策部長、矢野企画課長、子安企画課副課長、矢野統計調査係長、櫻井主査補

【傍聴人】 2 名

4. 会議次第

1 開 会 矢野課長

・ 会議成立の報告

委員の過半数の出席 (23 名出席) であり、東金市地域公共交通会議設置要綱
第 7 条第 3 項の規定により、会議が成立していることの報告

2 齊藤会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介 資料 1

・ 会議の目的等の確認

(1) 役員の選任

(2) 平成 26 年度事業報告・収支決算について (審議)

(3) 平成 27 年度事業計画 (案)・収支予算 (案) について (審議)

(4) デマンド型乗合タクシーの利用実績について (報告)

(5) 「東金市総合交通計画」の計画期間満了に伴うまとめについて (報告)

(6) 平成 28 年度 (H27. 10-H28. 9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について (審議)

4 議 事 (議長 齊藤会長)

・ 議事案件 (1) 矢野係長、(2)・(3) 矢野係長、櫻井主査補、(4) 矢野係長、(5)・(6) 櫻井主査補
より説明・提案

(1) 役員 (監査委員) の選任について【審議】

資料 1

(2) 平成 26 年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】
《監査報告》

資料 2-1

資料 2-2

(3) 平成 27 年度 東金市地域公共交通会議 事業計画 (案)・予算 (案) について【審議】

資料 3

(4) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】

資料 4-1、4-2

(5) 「東金市総合交通計画」(H24 年度-H26 年度) の計画期間満了に伴うまとめに
ついて【報告】

資料 5

(6) 平成 28 年度 (H27. 10-H28. 9) 地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】

資料 6

(7) その他

5. 閉 会

【結果・決まったこと・次回の課題・今後の課題】

■ 議事

(1) 役員（監査委員）の選任について（資料1）

監査委員については、要綱第14条の規定により会長が任命する。

東金市議会総務常任委員会副委員長 坂本賀一 氏

承認

(2) 平成26年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について（資料2-1）

承認

(3) 平成27年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について（資料3）

承認

(4) デマンド型乗合タクシーの利用実績（H26年度、H27年度4-5月）について（資料4-1、4-2）

今後の課題

平成27年度の利用者数は前年度と比較すると増加しているが、当日予約が少ない状態である。このことについて検証をする。

(5) 「東金市総合交通計画」（H24年度-H26年度）の計画期間満了に伴うまとめについて（資料5）

今後の課題

平成28年度以降の「次期東金市総合交通計画」の策定に取り組む。

(6) 平成28年度（H27.10-H28.9）地域内フィーダー系統確保維持事業について（資料6）

承認

○ 平成26年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】 資料2-1

（事務局）

【資料2-1について説明】

（監査委員）

【資料2-2により監査報告】

○ 平成27年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】 資料3

（事務局）

【資料3について説明】

（委員）

事業計画の審議事項の中に循環バス（福岡路線・豊成路線）についての課題が入っていないが、どうなのか。

（事務局）

記載はないが、乗合タクシーとともにそれぞれの課題と改善方策の検討は行う。

（会長・議長）

循環バスと乗合タクシーは、それぞれの課題等について一体的に議論をしていく方が良い。

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績（H26年度、H27年度4-5月）について【報告】 資料4-1、4-2

（事務局）

【資料4-1、4-2について説明】

（委員）

昨年度と比較して、今年度の1日当たりの利用者が増加した要因は1時間前予約がスタートしたことが考えられるのか。

（事務局）

要因の一つと考える。

（斉藤委員：会長・議長）

資料4-1の裏面に乗降場所別の利用者数が掲載されているが、Door to Doorを基本としているデマンド型乗合タクシーの側面からどう評価するか。

（事務局）

自宅から目的地までの利用のほか、自宅以外の場所から目的地への利用も多く見受けられた。

（会長・議長）

資料の中でそのことがわかるのか。

（委員）

実際に運行に携わっている立場から、とよだ整形外科や浅井病院などは独自に送迎バスを運行している。よって、診療終了後はそれらを利用したり、一般タクシーを利用する方も多い。

（会長・議長）

詳細な分析が必要である。

（委員）

昨年度と比較すると5月の当日予約が減少しているがその理由は何か。

（会長・議長）

前日までの予約で一杯となり、当日予約が受けられなかったのか。

（事務局）

そのような状況となった場合には、応援車の要請を行うが、資料4-2を見ると応援車運行時間はゼロとなっているため、多くの当日予約をお断りしていたということではない。

（委員）

先ほどの関口委員の質問を受け、利用者の増加要因のひとつとして、1時間前予約のスタートということがあったが、一方で応援車運行時間がゼロということは1時間前予約の必要性がないということか。

（会長・議長）

事務局には次回、詳細な報告をお願いしたい。

○ 「東金市総合交通計画」(H24 年度-H26 年度)の計画満了に伴うまとめについて【報告】 資料 5

(事務局)

【資料 5・平成 27 年度市民アンケート(抜粋)について説明】

(委員)

市民アンケート(抜粋)83 ページ中、日吉台地区の不満足が 73.26%と高いが、路線バスの運行本数が減便となったことが要因と考えられるか。

(委員)

そのようにとらえている。平成 25 年度をもって開発事業者からの日吉台線路線バスへの補助金の交付が終了したことを受け、減便せざるを得ない状況であった。

(委員)

資料 5 では詳しい収支等が把握できない。詳細な内訳を追加説明してほしい。

(事務局)

資料 5 中、「収入 9,618,700 円」とは運賃収入と国庫補助金の合計、「支出 24,573,184 円」とは運行経費、予約センターオペレーター人件費、予約システムの経費等の合計となる。

(委員)

デマンド型乗合タクシーの 1 人当たりの行政負担が約 1,618 円、市内循環バスの 1 人当たり行政負担が約 575 円(直近値)という理解でよろしいか。

(事務局)

そのとおりである。

(委員)

これらを運用していくうえで、計画上での制約条件が大変重要と考える。前回の計画立案の時点で費用負担について制限がなかったわけではないはずである。計画と実績の乖離については、どのように見ているのか。

(事務局)

計画の段階では市内全域運行 1 日当たり 200 人の利用を想定していたが、公平・丘山・源地区で開始した実証運行において、すでに利用者数が大きく下回っていた。その結果、運行台数を当初の想定のおよそ半分以下の 3 台とした経緯はある。いずれにしても、乖離してしまった実績を踏まえて今後の計画を立てていかなければならないと考えている。

(会長・議長)

東金市タクシー組合の協力のもとで、計画では 7 台の運行だったにも関わらず、利用者数に対応して 3 台まで抑えていただいた。それにも関わらず費用負担が増加しているのは予約システムの費用がかかりすぎているということか。

(事務局)

先程より、計画策定時の目標値より実績が下回っていることを報告しているが、デマンド型乗合タクシーの 1 人当たりの行政負担は目標の 560 円に対して、実績は 1,618 円となっている。なぜこのような状態が続いているのかを事務局で分析し、改善策を委員の皆様にご提案してまいりたい。

(会長・議長)

新しい総合交通計画の策定に際してはこれまでの実績を踏まえ、制約条件をどこに設定するのか、費用対効果をどのように見ていくのかを示していただくとともに、慎重な審査をお願いしたい。

(委員)

循環バスとデマンド型乗合タクシーの行政負担額の比較をする際に、循環バスは福岡地区と豊成地区の2地区を運行しているが、デマンド型乗合タクシーは市内全域を運行している。比較する際には循環バスを全域に運行した場合を想定しなければならないと考える。

(会長・議長)

全体のコストについても提示をし、何が東金市の発展、地域創生に役立つ交通体系なのかを検討していただきたい。

(委員)

先程の資料から、8時台、9時台に利用者が多く、昼間には利用者が減っている。市民に対してこのことをアピールし、通院等も早朝ではなく、この時間帯にするよう促すことで平準化して、コストの抑制に繋げていくべきである。

(事務局)

ご指摘のとおり、利用者のニーズに合わせて配車すると応援車を準備することに繋がり、コストが嵩むことになる。利用者には昼間の利用を促すことを検討したい。

○ 平成28年度（H27年10月－H28年9月）地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】 資料6

(事務局)

【資料6について説明】

(会長・議長)

前年度と比較すると補助見込額が減少しているがその理由は何か。

(事務局)

全国的に同様の申請が増加している状況で、この先も逡減の方向性が示されており、一律で圧縮されているためである。

(会長・議長)

今後の見通しはどうか。

(事務局)

今後、申請する団体が増加すれば圧縮されていくと思われるが、国としては法定計画を策定し、それに伴って運行改善を図る団体には補助を厚くしていくとの方針もある。しかし、全体的には減少傾向であることは間違いないと思われる。

(会長・議長)

より具体的に教えてもらいたい。

(事務局)

今後予定している「第2次東金市総合交通計画」（地域公共交通網形成計画）の策定をした団体については、補助額の減少を緩やかにするとの方針が示されている。その先において、路線バスとコミュニティバスの運行を見直すなどといった具体的な事業を行うための法定計画（地域公共交通再編実施計画）を策定した場合についてはさらに優遇するとの方針が示されている。

○ その他

(委員)

高齢社会に突入するとバス停まで歩行することができない方も増加する。国からの補助額も多く見込まれないことを考えると利用運賃の増額も検討せざるを得ないと思われる。

(事務局)

運転免許証の返納で自動車の運転を止める方の増加も予想され、それらに則した交通形態の構築が必要であり、それに伴って利用運賃の見直しも検討課題であると考えている。委員の皆様にもご検討いただきたい。

(委員)

循環バスに関して高齢者が利用した際、バス停に水溜りがあり乗降に支障をきたしている箇所があると伺った。交通システムの構築のみならず、環境整備についても担当課との連絡をとって、対応してもらいたい。

(事務局)

情報をいただければ、各地区の循環バス推進委員会とも連絡をとりながら対応したい。

(会長・議長)

前回、日吉台地区の路線バス回転場について話があったが、三須委員においては、その後の話を聞いているか。

(委員)

企画政策部長からは、この件については情報が入りしだい、連絡をいただけると伺っている。

(委員)

日吉台地区の湖北台と西が丘それぞれのバス回転場、約1,000坪について、所有者より買い取りの依頼があり、運行の継続を図るため、協議を行い7月末には契約が成立する予定である。また、9月頃には各運行路線のダイヤ改正を行いたいと考えている。

(会長・議長)

路線バスのダイヤ改正については東金市にとって重要な事項であるが、決定前に東金市に打診をしてもらえるとありがたい。

(委員)

打診することには問題はないが、基本的には企業の事業計画であるため東金市の意向とは別である。

(会長・議長)

もちろん企業の収支に応じた事業計画ではあるが、減便に伴って新たな交通システムを導入する費用と現状を維持するための費用を比較検討するなど、積極的な意味で本会議に提示していただければと個人的には思うがいかがか。

(委員)

市からの要望を踏まえ、9月より東金駅西口から東千葉メディカルセンターまで運行している路線を季美の森地区まで延伸する。またダイヤについても受付時間に間に合うよう前倒しをすることを予定している。必要に応じて相談はしている。

(会長・議長)

定住人口の増加は東金市の大きな課題であり、交通網の整備をいかにこの課題に則して行っていくのかが重要であるため、ぜひよろしくお願ひしたい。

(委員)

先ほども話をしたが、市内の病院では独自に通院バスを運行している。これらのバスも公共交通網に組み込むべきである。

(委員)

4月16日より成東車庫から海浜幕張駅・イオンモール間を運行するストロベリーライナーの運行を開始している。

(委員)

大網駅から求名駅の間を運行する深夜バスについて、運行開始当初は12名程度であったが、直近では8から9名程度に留まっている。広報等よろしくお願ひしたい。

(関口委員：東金商工会議所 交通部会長)

東金商工会議所からの依頼によって運行していただいている。ぜひよろしくお願ひしたい。